

第3回 地域と市長の対話会でいただいたご意見への回答

※平成30年10月に地区からいただいたご意見

中野児童遊園について、先日親子が砂場遊びの時、砂が少ないので遊べない。
建設へ連絡済み。再度要望します。

A.

平成30年度に対応いたしました。

実施済

中野児童遊園について、西側道路雨が降ると雨水が溜まり歩行が困難。苦情あり。
建設へ連絡済み。再度要望します。

A.

平成30年度に対応いたしました。

実施済

中野児童遊園について、東側溝のフェンスが古く危ない。仮補強しているが掃除できなく不衛生。
フェンスの件が再三要望している。要望している間、掃除よろしく願います(溝)

A.

今年度(令和元年度)夏までを目途に対応します。

短期施策へ反映

第2回及び第3回地域と市長の対話会当日にいただいたご意見への回答

※当日、回答できなかったご意見への回答

【第2回地域と市長の対話会】

セアカゴケグモが見つかった時の対応をどのようにしたよいかわからない。市民に周知して欲しい。

A.

実施済

セアカゴケグモについては、市HPには大阪府HPへのリンク貼付及び7月広報【セアカゴケグモ等対策月間(7月20日から8月31日)】にて案内をしております。

駆除については、市販の家庭用殺虫剤(ピレスロイド系)を噴霧すれば駆除できます。見つけても、素手で捕まえたり、触ったりしてはいけません。クモの巣があれば、棒切れなどで払い、クモが巣を作らないようにすることで被害を避けることができます。

【第2回地域と市長の対話会】

公園と交番の間の道に水がたまるので、対応していただきたい。

A.

短期施策へ反映

H30年12月に溝を掘って水が溜まらないように対応しました。

【第2回地域と市長の対話会】

警察が各家庭を訪問して実施している、連絡カードの記載依頼について、本当に警察なのかわからず、趣旨もよくわからなかったため、住民が不安に思っている。

A.

情報提供

警察署に確認したところ、同様のお電話をいただいていることもあり、担当者が訪問する際は丁寧に説明することを共有し、対応していると聞いています。

第1回 地域と市長の対話会でいただいたご意見への対応の進捗について

※平成29年11月に地区からいただいたご意見の内、第2回地域と市長の対話会で回答済みのご意見を除く。
 ※第2回地域と市長の対話会で配布した回答書は、市ホームページをご覧ください。

中野交番の前から踏切の間の道路が、交互通行ができない状況であり、更に東側の道路の踏切から南に向いて進入すればその先が袋小路であり、更に東側に行った所でブロックがあるため車両は通れず、歩行者はつまづき転倒の恐れがあるため、有事の際に逃げ道がない状況なので非常に危険である

A.

関係機関と協議

清滝川を暗渠化することにより、一定改善ができると考えております。
 現状清滝川は1級河川であり、府の管轄であることから、市が暗渠化することは困難です。府から市へ権限を委譲していただけるよう府と協議をしております。

東中野の通学路内にルネスファイ四條駅前から田中たたみ屋の前の道路まで続く橋に柵を全面につけてほしい。数人落ちてケガをしています

A.

その他

ご指摘の箇所は、道路から個人宅へ入るための侵入路であると思われます。
 個人が大阪府から占有許可を受け、設置されている通路に市が柵を設置することは困難です。しかしながら、数人落ちてケガをされているとのことであれば、市からも所有者に設置をお願いしますので、詳細をお知らせください。
 また、当該箇所は以前より道幅拡幅のご意見をいただいておりますので、現在、水路の暗渠化を検討しております。

学校の登下校の防犯上、登下校見守りシステムのようなものを取り入れてほしい

A.

実施済み

昨年度の社会実験の結果及びその評価を踏まえ、子どもたちの登下校時の安全を守るため、関西電力との連携のもと、IoT技術を使った登下校見守りサービス(問合せ型見守りサービス・自分DE見守りサービス)を本年度から実施しています。
 詳細は、「第4回地域と市長の対話会 全市にわたるご意見への回答」40・41Pにチラシを掲載しておりますのでご覧ください。

第1回 地域と市長の対話会でいただいたご意見への対応の進捗について

※平成29年11月に地区からいただいたご意見の内、第2回地域と市長の対話会で回答済みのご意見を除く。
 ※第2回地域と市長の対話会で配布した回答書は、市ホームページをご覧ください。

来年から新3年生、新1年生は2クラスになると報告がありました。現時点の人数では1クラス38人となるようですが、その人数に支援学級に配置されている子はカウントされていないということなので、実際は40人を超えると思います。支援学級に配置されている子もカウントされれば3学級でいけるようなのでカウントして3学級にしてほしいです

A.

その他

小中学校においては、国や大阪府の基準に沿った学級編成を行いつつ、支援が必要なお子さんもそうでないお子さんも、共に学び、共に育つ、インクルーシブ教育の実践にあたっているところです。支援学級に配置されているお子さんを含めて学級編成を行うことは、インクルーシブ教育の観点からなお一層の教育的効果が期待できます。

しかしながら実現には課題が多く、他の方策を含めた調査、研究も必要であると考えます。現在、市費により学校支援員、学習支援員等の一層の充実を図っております。今後も、よりきめ細やかな支援を充実させるべく、推進してまいります。

- ・寝屋川の市民プールがなくなり手軽に行けるプールがなくなりました。四條畷に市民プールがあればうれしいです
- ・体力づくりのためにジムを駅近に作ってほしい
- ・図書館リニューアルを望む。大東市の「来ぶらり四条」は、コンパクトながら大変すばらしいと思う

A.

参考意見

本年8月ごろを目途に策定予定の公共施設の個別施設計画の検討段階において、人口減少や厳しい財政見通しなどの要因を踏まえると、施設総量を抑制していく必要があると考えておりますが、一方では、市民ニーズが益々多様化していることは認識しております。このことから、計画(素案)においては、施設総量を抑制していくだけでなく、公共サービスの利便性を高めるため、図書館や時間外保育の機能をJR駅前などに新たに整備する方向で検討を進めています。

なお、プールやジムの整備については、一般的に民間事業者が提供されるサービスであると考えております。